

**STOP!**  
リニア中央新幹線

# ストップリニアニュース No.1

発行：リニア新幹線を考える相模原連絡会 2012.04.27

3月31日「リニア新幹線を考える相模原連絡会」が発足しました。

市民集会の会場（橋本ソレイユ）は詰めかけた市民で一杯。熱気ムンムンの中で行われ、最後にリニア中央新幹線中間駅誘致計画凍結を求める知事、市長宛の要望書が確認されました。

会の目的は市民がリニアについての確かな情報を得て自らまちづくりを考えようと訴えることです。また多くの疑問に答え情報開示するようJR東海や行政に求め、安全が確認できるまで計画を凍結することを求めます。今後は各界への要望書提出と平行して学習会の開催を予定しています。

素朴な質問からつっこんだ質問や意見などが出て活発な話し合いの場となりました。



市民集会で基調講演をする上田昌文さん

## 聞いてびっくりリニアの話

— NPO法人市民科学研究室の上田昌文さんの講演から—  
<甘い経済見通しのずさんな計画、それでも見切り発車！>

◎少子高齢化による人口減少や格安航空、高速バスと新東名高速の競合を考えていない。

◎9兆円ともいわれる建設費なのに年間純利益 1400 億円のJR東海で大丈夫？ これまでも失敗した公共的なプロジェクトに税金をつぎ込んだ例がたくさんある。

<他にもあるビックリしたこと>

◎従来の新幹線の3倍以上の電力消費。

◎「夢の乗り物」というPRとはかけ離れ、80%が地下トンネル、風景は見えない。

◎車内や駅には強力な電磁波が発生し、磁気防護シールドで防ぐ必要がある。

沿線住民も含め健康被害が心配される。またこのシールドは大変高価。

◎時速500kmというのが従来の新幹線でも300km以上が可能になっている。

これ以上のスピードが本当に必要か？



4月12日に市役所を訪問し、市長代理の石川都市建設局局長に要望書を手渡す浅賀代表

## リニア新幹線を考える学習会

5月19日(土)午後6:30~9:00 ル11さがみセナールM II  
(JR橋本駅前 スーパー106F)

おはなし：小林光昭さん

(JR東海労書記長)

懸樋哲夫さん

(リニア市民ネット事務局長)

「リニアは必要か、

JR東海に働く者として」

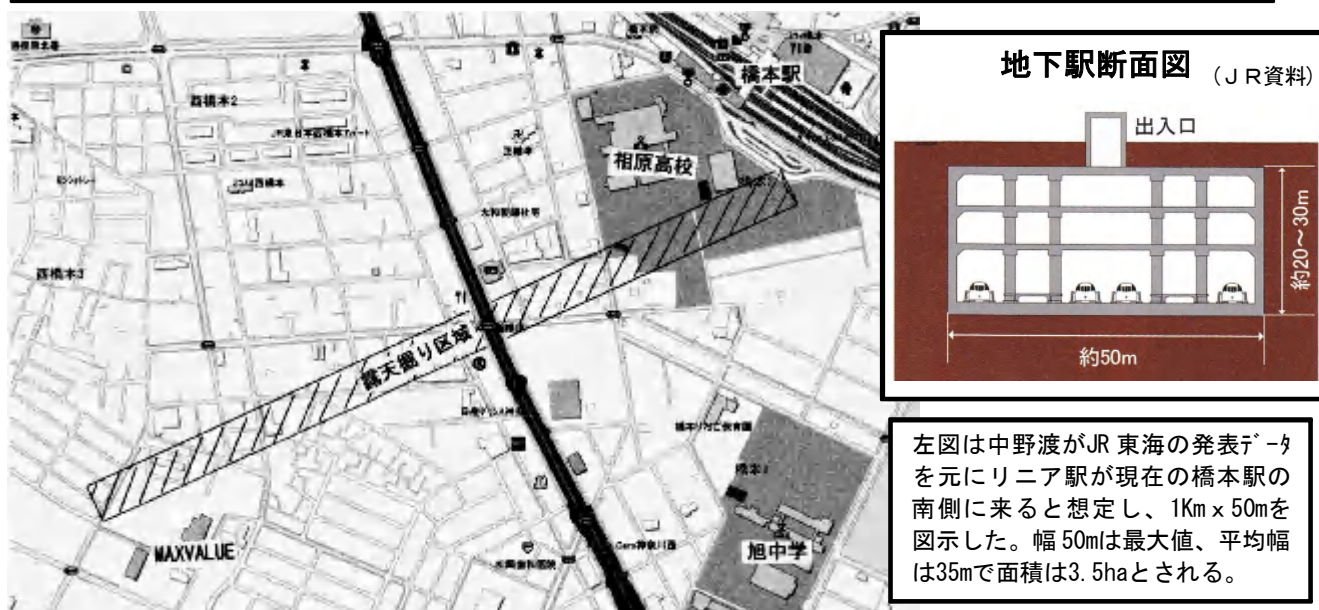
「リニア・市民ネットのとりくみ、  
電磁波と電力消費の問題」

主催：リニア新幹線を考える相模原連絡会

(資料代500円いただきます)

連絡先：浅賀(090-4378-9257) 中野渡(042-712-7077)

# 思いがけない大規模工事



橋本に駅が造られることになると、リニアは、もう他人事ではなくなります。  
駅は、全長1キロメートル、幅は、50メートルの露天掘りで建造されます。現在の橋本駅南側に建設するとなると予想される範囲を地図上で確認してください。

もちろん工事費は多額になり、JR東海は自己負担と言う一方で、「駅」は作るが、周辺の整備を自治体の義務と主張。整備費、運営費は、いったん生じたら、ずっと負担し続けなければならない性質のものです。市の財政難を加速させるのでは？！

## ☆環境への影響について、県知事と加山市長が重大指摘

神奈川県知事は、3月7日に「中央新幹線（東京都・名古屋市間）にかかる環境影響方法書に対する意見」を出し、JR東海が、環境影響上重要な項目を評価項目から外していることを指摘しました。

加山市長は、地下水への影響を懸念し、十分な調査を求めました。また、周辺道路交通流動の変化の予測が必要との指摘をしました。

JR東海が、相模原市内に建設する予定とされている車両基地についても、県と市から影響調査をすべきという意見が出されました。

それ以外にも、リニア走行に伴う騒音などの諸問題も無視されており、リニア新幹線の安全性・環境保全という点について、（そもそも環境影響評価制度には、法的拘束力がないとはいえ）JR東海がずさんな態度で、環境調査に臨んでいる実態があきらかになりました。

## ☆気になるシリーズ

リニアへの疑問その ① 電力消費について「ホントはエコではないリニア走行」

リニア新幹線の、乗客1人1キロメートル当たりの電力消費量は、既存の鉄車輪式新幹線の約3倍といわれています。

東電は、山梨のリニア実験線の変電所等に送電するために、柏崎刈羽原子力発電所から、山梨県に向けて、超高圧100万ボルト送電線の鉄塔を建設しました。新潟、群馬、長野、山梨と、県から県を渡って数百基におよぶ膨大な送電網が張り巡らされました。

原発再稼働させなければ動かないリニア新幹線はエコな乗り物ではありません。